

Pick up!!

YouTube



手稻健康チャンネル 検索

ご自宅でもできる筋力トレーニングなどの動画をYouTubeにて配信しています。これからも定期的に配信していきますので、是非ご覧ください。



詳しくはこちら！

当院へのアクセス



〒006-8555 札幌市手稲区前田1条12丁目1-40
 D棟3階 リハビリテーション室
 TEL 011-681-8111 (代表)

当院はJR手稲駅に隣接しており、札幌駅まで快速で10分余です。札幌中心部でさまざまな娯楽を楽しみ、文化資産を堪能することも容易です。また、隣町の観光地小樽まで20分で行くことができます。

近くには広大な前田森林公園があり、さまざまなアクティビティを楽しむことができます。スキー場まで車で15分、銭函海岸まで10分、最も近いゴルフ場までも15分、市営温水プールまで5分、市営体育館や図書館まで5分、最も近い温泉まで10分という、とても良い生活環境にあります。



Create Generalists

Mission of TKR | Teine Keijinkai Rehabilitation

教育	キャリアラダーを用いてジェネラリストを基盤としたスペシャリストの養成
資格	資格取得への積極的支援
研究	学術活動(学会発表・投稿)の積極的支援
職場環境	メンタルヘルス・子育て支援を重視した職場環境の充実
地域への貢献	地域包括ケアシステム推進に向けたリハ支援活動の実践 被災地でのリハサービス支援
他施設との連携	手稲地区リハビリテーション関連職種協議会(TRAIN)を結成し地域活動を支援

ジェネラリストへの ロードマップ

TKR Generalist

手稲溪仁会病院では、ジェネラリスト育成に向け、臨床ラダーを用いた計画的な教育システムを運用しています。各ラダーをクリアすることにより、確実にスキルアップすることができ、ローテーションを終えたときにはジェネラリストになり、その後は役職者への道が開けていきます。

ジェネラリストとは？

ジェネラリストとは、**分野を限定せず、広範囲な知識・技術・経験を有している人**のことです。疾患別の班をローテーションすることで、あらゆる疾患を経験しており、今後更に増えるであろう高齢重複疾患の患者にも対応できる、今最も注目されているセラピストです。



実習指導の様子



新人研修の様子

新人教育プログラム Teine Keijinkai Rehabilitation

4月

新卒者研修会

- リハビリテーション概論
- 就業規則
- 卒後教育システム
- 情意評価・年次目標(立て方)
- 進路調査・多面評価
- 個人情報保護
- CSR・法令遵守・品質管理
- チーム医療
- 接遇・その他

新人臨床研修Ⅰ

- 医療面接
- トランスファー
- 意識レベル(JCS・GCS)
- 認知(HDS-R・MMSE)
- FBS
- 血圧測定・パルスオキシメータ
- 感覚検査
- MMT・ROM
- 肢長・周径 反射

- 超音波・バイオフィードバック
- 低周波・中周波・直流

新人臨床研修Ⅱ

- 診療報酬制度について
- 身障手帳・厚生年金書類の書き方
- 見学実習の手順
- ICFについて

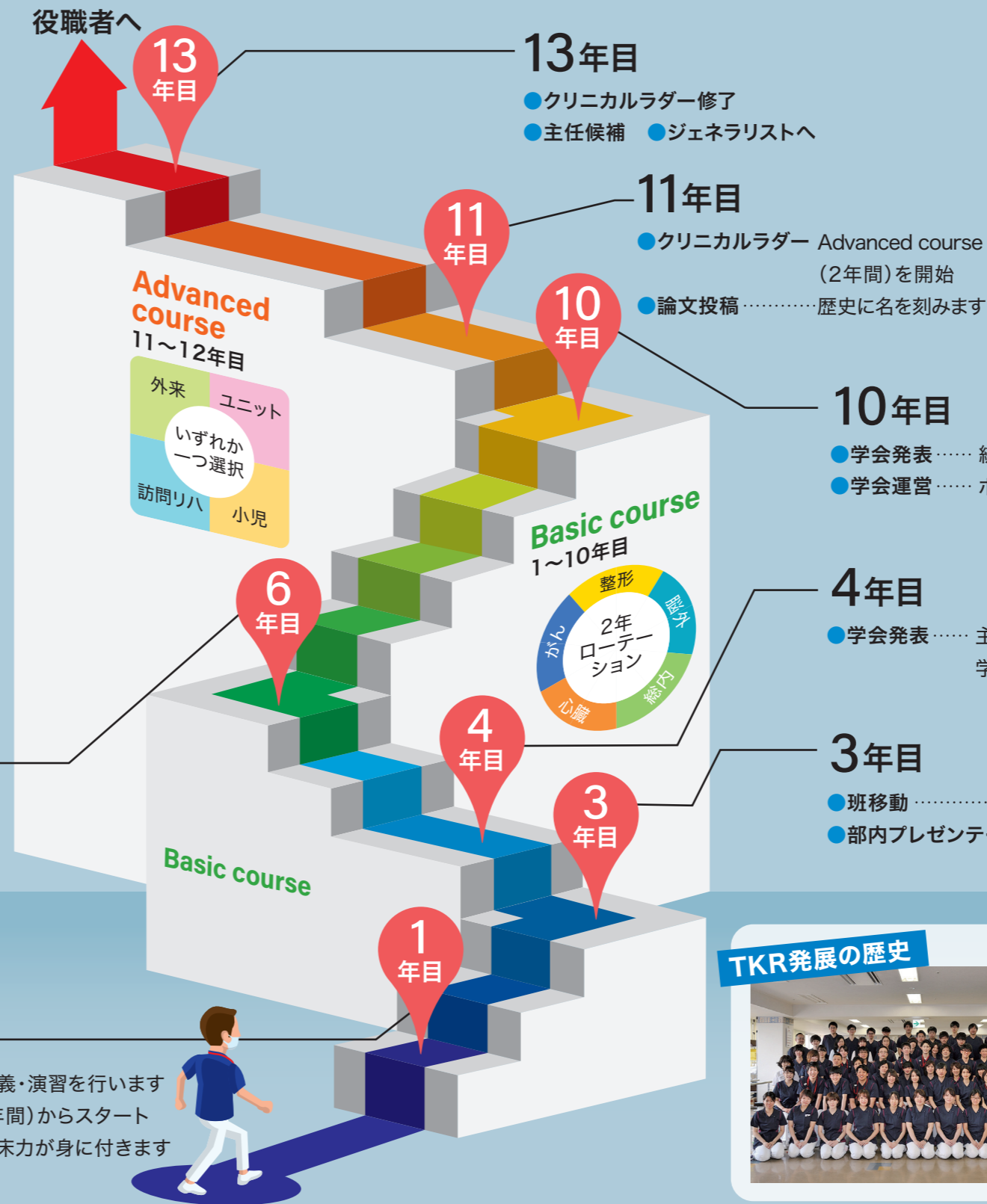
新人技能研修Ⅰ

- ハンドヘルドダイナモメーター
- 安静時基礎代謝測定
- 自転車エルゴ体力測定
- 重心動揺計
- プライマス
- エアロミル・エスカルゴ
- AMSD
- 摂食嚥下機能評価
- 気管切開・カニューレ
- ROM・TAM・TPD
- S-Wtest・2PD等
- 握力・ピンチ力・STEF
- スプリント作成
- HAND20

新人技能研修Ⅱ

- 評価手技(肘・前腕外傷-基礎)
- 評価手技(橈骨遠位端骨折)
- 評価手技(手指骨折・拘縮手)
- 評価手技(高次脳機能-自動車運転評価)
- 評価手技(高次脳機能-記憶障害)
- 評価手技(失語)
- 評価手技(Dysarthria)
- 脳卒中後の嚥下障害(食事選択まで)
- 気管切開・閉鎖訓練
- 評価手技(末梢神経麻痺)
- 評価手技(片麻痺)
- 評価手技(失調)
- 評価手技(パーキンソン病)

役職者へ



13年目

- 臨床ラダー修了
- 主任候補 ●ジェネラリストへ

11年目

- 臨床ラダー Advanced course (2年間)を開始
- 論文投稿……………歴史に名を刻みます

10年目

10年目

- 学会発表……………統計を用いた研究が自由自在
- 学会運営……………ポスター・口述発表の座長も経験

4年目

- 学会発表……………主任指導のもと、学会デビュー!!

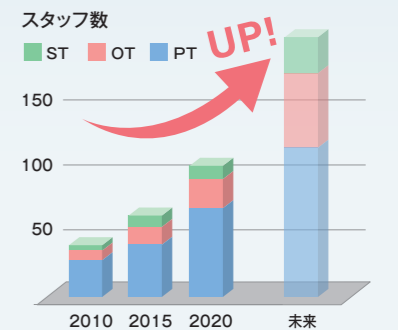


3年目の部内プレゼンテーション

3年目

- 班移動……………着実にステップアップ!!
- 部内プレゼンテーション……………1年間で3つのテーマについて勉強し、その成果をプレゼンします

TKR発展の歴史



5月

6月

スキルアップを強力にサポート!

手稲溪仁会病院では、スキルアップにつながるさまざまなコンテンツを用意しています。
高いモチベーションがあれば、どなたでも確実にスキルアップすることができます。

年間
1600件
以上の実績

スペシャリストによるOJTの実践

部内で認定を受けた指導者が、臨床の場でCCS方式による技術指導を行います。あわせてカルテ記載や統合解釈についても指導を行います。

2016~2019年の
研修会参加件数
369件

研修会参加による臨床能力の開発・育成

道内にとどまらず、全国各地の研修会・学会にスタッフを派遣しています。そこで最新の知識・技術を獲得し、他のスタッフへも伝達講習することで、多くの患者さんの治療に反映させていきます。

2016~2019年の
外部講師指導回数
126回

大学教授等からの定期的直接指導

各班のニーズを考慮し、各領域の専門性に特化した大学有名教授等を外部講師として定期的に招聘し、最新の知識・技術をご指導いただいています。

2016~2019年の
新刊書籍
80冊
契約雑誌
12誌

整備された学習環境

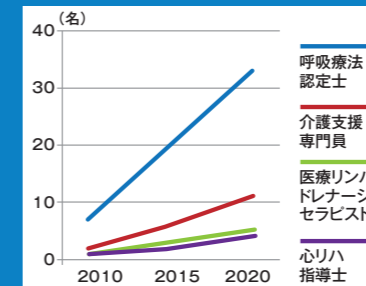
部内に各分野の図書・雑誌が豊富にあり、院内には職員専用の図書室があります。また、法人契約している医学文献検索サービスもあり、どんな資料でも必要があれば無料で取り寄せられる仕組みがあります。



2020年3月末時点
資格取得者数
55名

難関資格の取得

専門知識と技術獲得のため、心リハ指導士・呼吸療法認定士・介護支援専門員・医療リハビリセラピストなどの資格取得を積極的に支援しています。



2016~2019年の
学会発表数
124演題

学会発表への支援

経験の浅いスタッフに対しては、研究テーマ設定の段階から主任によるアドバイスを受けることができます。データ収集後の統計解析(統計ソフトSPSS使用)から発表スライド・ポスター作成に至るまで、主任のサポートで発表まで導きます。

Pick up!!

倫理委員会

- ・計画された研究が意義あるものか?
- ・人々に貢献することが期待できるか?
- ・患者への不利益を最小限にする配慮を含んでいるか?

を審査するのが倫理委員会です。学会発表や論文投稿時には、倫理委員会から事前に承認を受けることが求められています。

はじめて○○やってみた。 万全のサポートでああなたの「はじめて」を応援します



症例報告

もらったアドバイスは次に必ず生かします!



研修会

新たな学びに、わくわくが止まりません!



ICU

主任と一緒にICUデビュー。緊張しました。



嚥下

食べる喜びを支えたい。NSTの一員として頑張ります。



スプリント

自分不器用ですから。でもなんとかできました。



資格取得

資格取得でスキルアップ!!



動作解析

素早く正確にできるようにチームみんなで練習あるのみ!



学会発表

終わった後の達成感は最高です!

TKRの紹介 -7つの取り組み-

取り組み
1 患者さんの評価や治療に時間をかけたい

少人数担当制

担当患者さんの数を抑えて、きめ細かなリハビリを提供しています。



取り組み
2 患者さんのデータ管理や面倒な単位計算もラクラク

電子カルテ&リハ部門システム(リハメイト)導入

電子カルテのパソコンがあれば、患者さん情報の確認やリハカルテの記載がいつでもすぐにできます。



取り組み
3 病棟のモノを借りなくても大丈夫

血圧計・酸素飽和度測定機器の携帯

スタッフ個人に貸与されるため、常に患者さんの状態を確認することができます。



取り組み
4 困ったときにはすぐに電話、すぐに解決

院内携帯電話を全員に貸与

スムーズな業務連絡で効率化を図るとともに、緊急時の対応もできて安心・安全です。



取り組み
5 お休みがしっかり欲しい、そんなあなたに

有給休暇取得の推奨

3月に次年度1年間分の勤務シフトを立案することで予定を立てやすく、希望通りに休暇が取得できるように配慮しています。



取り組み
6 個人で抱え込まないように、手厚くサポート

メンタルサポートの充実

- メールによる相談窓口の設置
 - 上司による定期的な面談
 - 長時間労働をさせない仕組み
- 病院全体でメンタルヘルスケアに取り組んでいます。



取り組み
7 リハ部には子育て世代がたくさん

子育て支援

産休・育休後の子育て世代が、定時で帰宅できることを最優先に、リハビリ部が一丸となって支援しています。



リハビリテーション部年間行事紹介



Staff voice

長く安心して働ける職場です

作業療法士 林 雅子

リハビリテーション部では、子育てや介護などで遅くまで残れない方のために、業務量を調整してくれます。そのため、終業時間である17時10分に帰宅できるので、子どものお迎えにも間に合いますし、仕事と家庭の両立もできています。



TKRの地域貢献 手稲区内

地域包括ケアへの参画

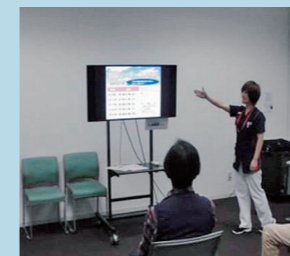
手稲地区健康高齢者体操事業(週2回)

手稲区住民を対象に、身体機能測定および介護予防のための運動を行っています。



体操リーダー育成事業

高齢者向けの体操教室を開催・運営し、地域で運動指導できる人材を育成します。



対外的な講演会

全国各地から著名な医師・セラピストを研修会の講師として招き講演会を企画しています。病院内だけでなく、手稲周辺地区勤務のセラピストも無料で参加でき、地域のセラピストの方々に研鑽の機会を提供しています。



フライングディスク練習会の開催

慢性呼吸器疾患患者を対象としたフライングディスク練習会を、リハビリテーション部が事務局である札幌呼吸フライングディスククラブ主催という形式で定期的開催しています。



TKRの地域貢献 北海道内

当院主催の研修会



若手&新卒者研修会

経験の浅いセラピストを対象とした研修会です。臨床や研究に必要な基礎知識から各種疾患における最新の治療法まで、幅広く学習できる研修会を開催しています。



がんリハ研修会

疾患別リハの「がんリハビリテーション料」を算定するために必要な研修会の事務局を担当しています。



リンパ浮腫セミナー

リンパドレナージュや弾性包帯などの手技について、実践レベルで学習する機会を提供しています。

Pick up!! 災害リハ支援活動

大規模災害にて避難所生活をされている被災者の方が、活動量低下による体力低下やエコノミークラス症候群を引き起こさないように、リハスタッフが被災地に赴き、筋力トレーニングや有酸素運動の指導を行います。2018年9月の北海道胆振東部地震では厚真町で活動しました。

